

# Japanese Language Education

offered by

International Office

&

Institute of Liberal Arts and Sciences

&

Faculty of Integrated Arts and Sciences

【Open for undergraduate International students】

---

## Academic school year

Fall-Winter Semester: Oct. 1 to Mid-February.

Spring-Summer Semester: Early April to the end of July

## Timetable

1~2 (8 : 40~10 : 10) / 3~4 (10 : 25~11 : 55) / 5~6 (12 : 50~14 : 20)

7~8 (14 : 35~16 : 05) / 9~10 (16 : 20~17 : 50)

## Japanese Language Requirements

JLPT (Japanese Language Proficiency Test) Level 3 (N3) or higher is desirable for some courses of Japanese Language Education.

\* Syllabuses may be subjected to change.

\* Class room may be subjected to change.

**【Japanese Language Program】** offered by International Office

Semester	Spring / Fall
Course Level	Divided into 8 levels Basic 1 (for novice), Basic 2, Basic 3, Basic 4, Intermediate 1, Intermediate 2, Intermediate 3, Intermediate 4
Each class is held twice a week. Students can study Japanese language, while studying and researching their major subjects. Students will be assigned in a class appropriate to their Japanese level.	

**【Intensive Japanese Course Basic】** offered by International Office

Semester	Spring / Fall
Purpose of the Course	This course aims to facilitate students' learning of the foundational level of Japanese language and development of the skills to use Japanese language in their everyday life as an adult learner of Japanese language. This course also aims to facilitate students' cultural understanding about Japan and foster their knowledge of how Japanese people think, behave, and act through authentic communication with Japanese people.
Summary of the Course	This course is designed for those who have never studied Japanese before or who have studied for a short period of time and who want to restart learning Japanese language from the beginning. The course will cover the foundational issues of Japanese language, including basic grammar, structure, vocabulary, and useful phrases, which are equivalent to JLPT (Japanese Language Proficiency Test) N4 and N5. Students are required to participate in all inside and outside class activities that involve homestay and learning-excursion. There are some activities with Japanese and other international students.

## Academic Japanese I~IV (For International Students)

- ◆ Students who take Academic Japanese I, should also take Academic Japanese III.
- ◆ Students who take Academic Japanese II, should also take Academic Japanese IV.

Title	日本語 I / Academic Japanese I		
Code / Day, Time	90001 / Tue. 1~4	Room	1号館 308
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Kaori Fujitaki
Aim	中級レベルの話し方や会話運用能力と、日本社会への理解を深まるアカデミックな文章・今より一歩進んだ話し方・書き方を学びます。		
Class description	日本社会について、クラスメイト同士で話し合う、エッセイを書くなど、テーマを巡る豊かな自己表現活動を通して、無理なく楽しく中級日本語を学びます。ユニット毎に学習する重要な漢字についても、書き方から丁寧に学びます。		

Title	日本語 II / Academic Japanese II		
Code / Day, Time	90002 / Tue. & Fri. 5~6 (Twice a week)	Room	1号館ゼミ 7
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Kaori Endoh
Aim	主たる中級文法を項目別に復習し、適切な日本語表現を身に付けることを中心に授業を展開する。また、良好な人間関係を続けるために配慮するという観点から、生活に必要な不可欠なメールの書き方を考える。さらに、聴解力を強化し、内容を要約する構成力を修得する。		
Class description	1. 前半は、中級文法の復習を通して正しい理解と使われ方の違いを学び、適切な表現を身に付ける。2. メール授業は、相手に対する配慮という気持ちを理解し、表現を考える。様々な状況や相手を想定し、ワークショップを行う。 3. 聴解に関しては、比較的身近な内容を聞き、その概要やテーマを理解し文の構成を学ぶ。さらに、再構成して要約できるように繰り返しトレーニングする。		

Title	日本語 III / Academic Japanese III		
Code / Day, Time	90003 / Tue. 3~4 & Wed. 5~6 (Twice a week)	Room	1号館 307, 303
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Kaori Fujitaki
Aim	日本の地理・歴史からポップカルチャーまで、様々なトピックを通して日本語で「話す」「聴く」「読む」「書く」4技能と、日本語のコミュニケーション能力を伸ばすことを目的とする。		
Class description	毎週日本語で書かれたり、話されたりしている様々な日本に関するテーマについて、教科書の読み物だけでなく、インターネット上の情報も活用しながら、クラスメイトと日本語で意見交換をしながら考え、お互いに自分の考えや意見について効果的に伝える。		

Title	日本語 IV / Academic Japanese IV		
Code / Day, Time	90004 / Tue. & Thu. 5~6 (Twice a week)	Room	1号館ゼミ 6
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Kaori Endoh
Aim	日本社会探検と題し、日本社会に関する身近で取り組みやすいテーマやタスクを扱い、客観的、相対的、多角的な視点を持って思考し学術的活動ができる力、そして、問題解決能力、情報収集能力、主体的に学び続ける力を培うことを目標とする。		
Class description	①7つのテーマを扱う。どの課もプレタスク、メインタスク、ポストタスクの3構成で、ペアあるいはグループで理解を深める様々なタスクを行う。グループでの情報収集や発表も行う。②テーマについて考える上で、言語知識や言語スキルについて再確認し日本語力を高める。同時にテーマへの理解や思考を深める。実際のインタビューや短い講義、スピーチなどを聞き、理解する。③各テーマに関連した漢字の読み強化を行う。		

## 【Japanese Culture 1 - 4】 offered by Institute of Liberal Arts and Sciences

★Courses will be chosen by lottery when the capacity excess.

### ～First Semester (Spring)～

Title	★日本事情Ⅰ / Japanese Culture 1		
Code / Day, Time	10601 / Wed. 3～4	Room	多言語交流コモンラウンジ
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Hiroshi Sakata, Satoshi Hashimoto
Goals	日本社会で生活するためには、日本の文化を知ることに加えて、日本人の考え方を 知る必要もあります。この授業では、日本人学生や地域の人たちと話したり、 一緒にイベントに参加したりして、自分と異なる文化背景を持つ人たち（みなさん にとっては日本人）の意識、考え方、行動の仕方を学び、異文化理解の力を身 につけます。同時に、さまざまな国から来たクラスメイトや日本人と交流するこ とで、コミュニケーション能力を高めます。		
Overview	クラスメイトや日本人学生とのコミュニケーションを体験し、他者、特に日本人 との関わり方を学びます。日本の文化、徳島県の歴史、伝統文化、産業を学びま す。これらのトピックを通して、異文化理解、国際交流をどのように進めていく のかを考えます。		

Title	★日本事情Ⅲ / Japanese Culture 3		
Code / Day, Time	10602/ Thu. 3～4	Room	4号館 205
Semester / Credit	First (Spring) / 2	Instructor	Yukiko Fujiwara
Goals	I 多様性を認め合う社会の実現のためには、相互理解のためのコミュニケーション が不可欠である。そこで、この授業では、留学生活の中で起こりえる身近な問 題について、多角的な視点から主体的に考えたり、自己の主張をわかりやすく述 べたりできる態度と力を身につける。また、話し合いを通して、多様な価値観や 自分とは異なる考え方があることを知る。		
Overview	日本の留学生活の中で起こりえる身近な問題（ケース）に関する文章を読み、 まず個人で解決方法を考える。その後、解決方法の案を持ち寄り、ペア/グル ープでどのように解決したらよいかを話し合う。留学生自身が作成したケー スについてもディスカッションを行う。		

～Second Semester (Fall)～

Title	★日本事情Ⅱ / Japanese Culture 2		
Code / Day, Time	20601 / Wed. 3～4	Room	6号館 203
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Hiroshi Sakata, Satoshi Hashimoto
Goals	日本社会で生活するためには、日本の文化を知ることに加えて、日本人の考え方を 知る必要もあります。この授業では、日本人学生や地域の人たちと話したり、 一緒にイベントに参加したりして、自分と異なる文化背景を持つ人たち（みなさん にとっては日本人）の意識、考え方、行動の仕方を学び、異文化理解の力を身 につけます。同時に、さまざまな国から来たクラスメイトや日本人と交流するこ とで、コミュニケーション能力を高めます。		
Overview	クラスメイトや日本人学生とのコミュニケーションを体験し、他者、特に日 本人との関わり方を学びます。日本の文化、徳島県の歴史、伝統文化、産業 を学びます。これらのトピックを通して、異文化理解、国際交流をどのよう に進めていくのかを考えます。		

Title	★日本事情Ⅳ / Japanese Culture 4		
Code / Day, Time	20602/ Thu. 3～4	Room	4号館 205
Semester / Credit	Second (Fall) / 2	Instructor	Yukiko Fujiwara
Goals	多様性を認め合う、持続可能な社会を実現してゆくためには、まず、自分が暮 らす地域の人々や文化、歴史等を知ることが重要である。そこで、この授業 では、自らの目、耳、手足を使って情報を集め、新たに知ったことや得られ た経験を教室で共有することをとおして、地域（徳島、四国）の社会、歴史、 自然、文化などについて体験的に学ぶ。		
Overview	各テーマについて、教室で事前学習、事前調査を行ったあと、各自調査対象 （場所や人）を決定し、調査計画を立てる。授業外で実際にその場に足を運 び、調査を実施する。次の授業で、調査結果を持ち寄り、個人やグループで 結果をまとめ、全体に共有する。		

# 【Japanese Language 1 – 8】 offered by Institute of Liberal Arts and Sciences

## ～First Semester (Spring)～

Title	日本語 1 / Japanese Language 1		
Code / Day, Time	13001 / Mon. 7～8	Room	4号館 205
Semester / Credit	First (Spring) / 1	Instructor	Kaori Endo
Goals	大学生として必要な日本語力を身につけ、目的に応じたなめらかな確かな日本語での表現の強化をする。アカデミック日本語（レポート・小論文を書く、プレゼンテーションをする）に基礎となる部分の習得を目指す。この授業を通して、誤解を与えない正確な表現力と語彙力の強化をも行う。		
Overview	日常生活上の身近なテーマをもとに、自らの思考をまとめる中で、アカデミック日本語の基礎を確認し習得する。そこでは自分でも気づかずに使用していた日本語の見直しと補強を軸として授業展開をする。あらかじめ課題文章を毎回提出し、授業では皆で表現の見直しを共有する。ともにより適切な日本語を模索し考えていく。また、毎回授業の初めに語彙テストを行う。		

Title	日本語 3 / Japanese Language 3		
Code / Day, Time	13002 / Mon. 9～10	Room	6号館 203
Semester / Credit	First (Spring) / 1	Instructor	Yukiko Fujiwara
Goals	大学の学びでは、自らの問題を発見し、事実に基づいて論理的・批判的な思考・判断を行い、導いた結論を表現していく力が求められている。そこで、この授業では、ある問題に対して、他者と対話しながら、根拠をもって主張を組み立て、結論を導く方法を身につける。		
Overview	前半は、対話型論証モデルを用いながら、全員共通のテーマでディスカッションと議論の構築を行い、結果を発表することによって、モデルの使い方と思考の整理の仕方を体験的に学ぶ。後半は、それらを使って、自身のテーマについて主張をまとめ、スピーチとして発表する。		

Title	日本語 5 / Japanese Language 5		
Code / Day, Time	13004 / Tue. 9~10	Room	4 号館 205
Semester / Credit	First (Spring) / 1	Instructor	Satoshi Hashimoto
Goals	<p>大学では、自分で学びたいテーマを見つけ、本を読んで調べたり、アンケート調査をしたり、実験をしたりします。そして、それをまとめ、レポートを書いたり、口頭で発表したりします。この授業では、自分の身近な問題を取り上げ、アンケート調査をして、スライドを作成して発表をします。授業を通して、日本語を伸ばすだけでなく、調査して考えたり発表したりする力を身につけます。</p>		
Overview	<p>調査と発表の仕方を学びます。次のような内容で行います。  ①テーマを決める、②調査のための準備をする、③アンケート調査をする、  ④結果をまとめて分析する、⑤プレゼンテーションをする、⑥レポートを書く。</p>		

Title	日本語 7 / Japanese Language 7		
Code / Day, Time	13003 / Tue. 7~8	Room	4 号館 205
Semester / Credit	First (Spring) / 1	Instructor	Fujiwara Yukiko
Goals	<p>留学生として安心して地域社会に暮らし、大学で学んでいくための基礎となる日本語力を養う。この授業では、専門性、社会性のある内容の講義、ニュース、ドキュメンタリーなどの視聴を通して、大学生活に必要な聴解力を身につける。また、聞き取った内容について意見や感想を記述したり、さらに内容を掘り下げ、ディスカッションを実施する。</p>		
Overview	<p>前半は、大学の講義のような専門性のある内容を聞き、ポイントを整理して記録したり、要旨をまとめたりする方法を学ぶ。さらに、講義後限られた時間で自身の気づきや感想を書くリアクションペーパー（ミニツツペーパーなどとも呼ばれる）のよい書き方についても、ともに考える。  後半は、ニュースを視聴し、内容理解とともに語彙や表現を学ぶ。さらに、理解した内容について考察を深め、社会的な事柄についてディスカッションを行う。</p>		

～Second Semester (Fall)～

Title	日本語 2 / Japanese Language 2		
Code / Day, Time	23001 / Mon. 7～8	Room	4 号館 205
Semester / Credit	Second (Fall) / 1	Instructor	Kaori Endo
Goals	大学生として必要な日本語力を身につけ、目的に応じたなめらかな的確な日本語での表現の強化をする。アカデミック日本語（レポート・小論文を書く、プレゼンテーションをする）に基礎となる部分の習得を目指す。この授業を通して、誤解を与えない正確な表現力と語彙力の強化をする。		
Overview	<p>Students will gain a foundation of academic Japanese based on close themes such as current events. Also, students will review Japanese which they have been using unconsciously. Students will have a vocabulary test at every lecture.</p> <p>-----</p> <p>日常生活上の身近なテーマをもとに、自らの思考をまとめる中で、アカデミック日本語の基礎を確認し習得する。ここでは自分でも気づかずに使用していた日本語の見直しと補強を軸として授業展開をする。あらかじめ課題の提出をし、授業では皆で表現の見直しを共有し、ともにより適切な日本語を考えていく。毎回、語彙テストを行う。</p>		

Title	日本語 4 / Japanese Language 4		
Code / Day, Time	23002 / Mon. 9～10	Room	6 号館 203
Semester / Credit	Second (Fall) / 1	Instructor	Yukiko Fujiwara
Goals	留学生として安心して地域社会に暮らし、大学で学んでいくための基礎となる日本語力を養う。この授業では、個人的、一般的な興味に関する話題について詳しく描写したり、複雑なことや自分に起こった出来事を説明したりするための口頭表現力を身につける。また、話し相手への配慮や異なる価値観、考え方を互いに認め合う姿勢など、人間関係とコミュニケーションについても考察する。		
Overview	毎回の授業で上級話者になるための具体的な目標を設定し、その話題で話すときによく使う表現や話の順番を考えながら、実際に話す活動を行う。自分の話を録音し、それを聞いてふりかえりを行うことで、目標達成度を確認しながら、ステップを踏んで学習する。		



Title	日本語 6 / Japanese Language 6		
Code / Day, Time	23004 / Tue. 9~10	Room	6号館 203
Semester / Credit	Second (Fall) / 1	Instructor	Satoshi Hashimoto
Goals	日本で働くためには、大学で学ぶ日本語とは違う「ビジネス日本語」やボキャブラリー、ビジネスや社会ニュースの概念なども知っておくことも求められます。また、会社で日本人と円滑にコミュニケーションをするための「社会人としての日本語」、日本人のものの考え方や振る舞い方を知ることも大切です。大学生という立場だけでなく、社会人として日本人とのコミュニケーションが円滑にできる方法を習得します。		
Overview	社会人基礎力（チームワークで働く力など）、日本人のものの考え方や働き方などを学びます。また、ビジネス日本語、とくにビジネスで必要なボキャブラリー、漢字、カタカナ語の習得を目指します。具体的なエントリーシートや資料依頼のメールの書き方、電話のかけ方などを学びます。		

Title	日本語 8 / Japanese Language 8		
Code / Day, Time	23003 / Tue. 7~8	Room	4号館 205
Semester / Credit	Second (Fall) / 1	Instructor	Yukiko Fujiwara
Goals	留学生として安心して地域社会に暮らし、大学で学んでいくための基礎となる日本語力を養う。この授業では、新聞の読み方を学ぶとともに、新聞を使った活動、発表を行う。それらの活動を通して、日本語で情報を読み取る力と、それらを主体的に活用していく力を身につける。		
Overview	さまざまなジャンルの記事を読みながら、新聞の特徴を理解すると同時に、新聞でよく使われる表現やことばも学ぶ。また、新聞を活用した発表活動も実施する。		